

各種 予防接種

該当者には個別に通知しています。
接種期限内に予防接種を受けましょう。法定年齢であれば、無料で接種できます。

①麻しん・風しん（2期）予防接種

はしかは毎年、春頃に流行します。できるだけ4月から6月の間に予防接種を受けましょう。「麻しん・風しん 混合ワクチン」の定期接種は2回です。

これは乳幼児期に接種した「麻しん・風しん予防接種」に対する免疫を追加するものです。

●対象者 小学校就学前の1年間にある方

※上記以外の麻しん・風しん（1期）の対象者は生後1年～2年未満の方です。

忘れずに予防接種を受けましょう。

②ジフテリア・破傷風（二種混合）予防接種

これは乳幼児期に接種した「三種混合予防接種」に対する免疫を追加するものです。

●対象者 小学6年生

上記の①および②の「接種期限」および「持参物」は下記の通りです。

●接種期限 平成26年3月31日（月） ●持参物 ①健康保険証、②予診票、③母子健康手帳

診療所の医師紹介

都路診療所からお知らせします。

4月から都路診療所長が代わりました -退任・着任された医師を紹介します-

永山恵子医師が3月31日で 都路診療所長を退任されました

永山医師には、平成22年度から3年間、市民の健康管理など、地域医療のために貢献いただきました。特に、平成23年3月11日に発生した東日本大震災並びに福島第一原子力発電所の事故の際は、都路地域のかたがたが避難所生活を余儀なくされる中、避難所に仮設の都路診療所を設置するなど、避難者の健康管理のため、献身的に診療に当たっていただき、大変お世話になりました。

4月1日から都路診療所長に着任した 家田正寿医師を紹介します

愛知県出身で、岐阜大学医学部を卒業後、愛知県市立岡崎病院、長野県箕輪町国民健康保険東部診療所に勤務。専門は、内科と整形外科で、地域医療に意欲的に取り組んでいます。皆さんが安心して暮らせるよう地域医療を充実させていきたいと思っております。よろしくお祈りします。



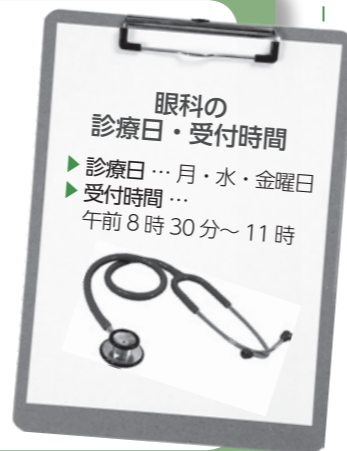
■ 公立小野町地方総合病院だより ■

● 問い合わせ ☎72-3181

information

眼科非常勤医師 新澤恵（しんざわめぐみ）医師からのお知らせ
「加齢黄斑変性（かおいおうはんへんせい）」とは・・・

加齢黄斑変性は、視力をつかさどる黄斑部に異常が生じる病気です。病名のとおり、加齢により生じ、特に喫煙している方や男性に多くみられます。症状は視野の中央、まさに見たい部分が見えない、というものです。治療には、抗血管新生療法（眼内に注射）や光線力学療法（特殊レーザー）があります。予防には、禁煙は大切です。また、ほうれん草やケールなど、緑黄色野菜に多く含まれるルテインやビタミンE、C、亜鉛などを食事で多く取る、あるいはサプリメントで積極的に栄養素を補給することが重要です。



健康診査・がん検診（集団検診）

がん検診は市内どの会場でも受診できます

健康を守るために

がんは、日本人の死因の第1位であり、死亡数も年々増えています。がんを予防するには、食生活、運動、喫煙、飲酒、休養などの生活習慣を見直すとともに、定期的ながん検診を受けることが大切です。

市では5月末から「健康診査」および「がん検診」を実施します。「がん検診」は加入されている医療保険に関わらず、市民の方であれば受診することができます。この機会にぜひ、受診ください。

集団健康診査・がん検診

● 受付時間
都路地区…午前7時45分～9時30分、船引地区…午前7時30分～10時

地区	日	対象	会場
都路	5/27（月）	古道	都路保健センター
	5/28（火）		
	5/29（水）	岩井沢	岩井沢体育館
	5/30（木）	仮設住宅など	船引保健センター
船引	5/31（金）	芦沢東区・北区・中区	芦沢農業センター

各種がん検診でのがん発見者

(H25.2月現在)

	H21年	H22年	H23年
胃がん	9	7	5
大腸がん	5	9	8
肺がん	5	3	6
子宮頸がん	5	2	2
乳がん	3	0	1

市が実施しているがん検診

胃がん検診

対象…30歳以上
内容…胃部エックス線検査
胃を膨らませる発泡剤を飲んだ後にバリウム（造影剤）を飲み、様々な角度から胃の内부를X線で撮影します。

肺がん検診

対象…40歳以上
内容…胸部エックス線検査
X線で肺全体を撮影します。
*65歳以上のかたは結核検診で実施します。

大腸がん検診

対象…30歳以上
内容…便潜血反応検査
便に潜む血液の有無を調べる検査です。専用の検査容器に便を採取して提出します。

前立腺がん検診

対象…50歳以上の男性
内容…PSA（前立腺特異抗原）検査
採血し、血液中のPSA値を調べます。PSAは前立腺でつくられるたんぱく質で、がんや炎症などがあると血液中に出ます。

子宮頸がん検診

対象…20歳以上の女性（2年に1回）
内容…子宮頸部の細胞診
ブラシや綿棒などで子宮頸部を軽くこすり、採られた細胞を染色し顕微鏡で調べます。
*各保健センターで実施する「集団検診」と市が指定する医療機関で受けていただく「施設検診」があります。

乳がん検診

対象…40歳以上の女性（2年に1回）
内容…視触診（40～59歳のみ）
マンモグラフィー（乳房エックス線検査）
専用のX線撮影装置で、乳房を挟んで圧迫し撮影します。
*対象年齢で受診方法が異なります。
40～49歳…施設検診
50～59歳…施設検診または 集団検診
60歳以上…集団検診